



2021年2月15日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祐
 コード番号 2 9 2 9 (東証第一部)
 問 合 せ 先 管理部部長 新 谷 義 信
 T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

2021年7月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月16日に公表いたしました2021年7月期(2020年8月1日から2021年7月31日)の第2四半期連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想値の修正

2021年7月期 第2四半期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,455	△1,479	△1,450	△1,475	—
今回修正予想 (B)	20,393	△84	△52	△446	—
増 減 額 (B-A)	△62	1,395	1,398	1,029	—
増 減 率 (%)	△0.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 2020年7月期第2四半期	6,452	△1,585	△1,578	△1,536	—

2. 修正の理由

通信販売事業において、広告宣伝を上期に集中投資し、下期で利益回収する「通期黒字化モデル」を継続して実行いたしました。当第2四半期累計期間においては、ニューモ®育毛剤を中心に、前期と比べて高い顧客獲得効率で、過去最高額の広告宣伝投資を実施することができました。この結果、クロスセル施策及び解約率の低下効果もあわせ、「通期黒字化モデル」の「利益回収の早期化」及び「利益水準の上昇」が、利益の増加につながりました。

バイオメディカル事業では、田辺三菱製薬株式会社との共同研究の成果が高く評価され、同社との独占的ライセンス契約締結に伴う契約一時金が、当初想定以上の金額となりました。

さらに、機能性素材事業では、ファーマギャバ®が大手飲料メーカー向けに記憶力を向上させる素材として出荷されるなど、好調を維持しております。

以上の結果、当第2四半期は四半期の営業利益として過去最高を記録し、前回予想と比べ利益が大幅に増加する見込みです。

なお、2021年7月期通期業績予想につきましては、事業環境が引続き好調を維持しており、業績進捗ペースが予想を上回る可能性を有しているものの、現時点においては据え置いております。

第3四半期以降も投資効率を踏まえて高水準の広告投資を行う計画であります。東京オリンピック開催の有無及びそれに伴う広告枠の追加買付並びに新型コロナウイルスによる広告単価の動向を見極めたくて、通期業績予想を精査し、速やかに開示いたします。